



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.509

'15. 6. 25

星ヶ丘ホスピスと不戦のつどい曲をレッスン

6月21日

□6月21日（日）の定例レッスンは、佃さんの体操と、富樫さんの丁寧で充実したヴォイストレーニングに始まり、本並先生の指揮、森二三さんのピアノで、まず、バリトンの橋本さん慰問の星ヶ丘ホスピス（6/24）での演奏曲のうち「川の流れのように」、続いて、「不再戦日中友好のつどい」（7/1）の演奏曲「死んだ男の残したものは」、「道」、「歓びのナーダム」を石橋さんの司会も入れて、時間を計りながらリハーサルしました。参加者は全28名でした。

「特別団員とともに」レッスン

6月21日



□続いて「特別合唱団員」とともに「地底のうた」（本並先生指揮）と「歓びのナーダム」（伊藤副指揮者）をレッスンしました。特別団員はこの日は15名の参加（全部で16名）があり、全体で44名の大迫力の合唱が、ねむかホールいっぱいに響き渡りました。いつもこれくらいいると「怖いものなし」の活力ある男声合唱になるのだけどと、改めて団員拡大の大切さを思ったことでした。

□特別団員レッスンは1回500円で、「特別団員とともに」の全曲の練習CDと楽譜が配られ、わかりやすいレッスン指導がありますので、すぐ歌えます。この記事を読んで興味をお持ちの方、コンサートは来年1月ですから今からでも十分間に合いますので、参加してご一緒に歌いませんか。

□午前中に「運営・企画委員会」があり、立川事務局長から内容の報告がありました。特記のみ下記に記します。詳細は配布されたレジメを見てください。

- ・国内コンサートのエントリーは28名となりました。リハーサル8/2が都合悪い方は8/9に行いますので申し出てください。

- ・カンパのお願い。①大阪のうたごえ協議会夏季カンパ。②辺野古支援カンパ。

- ・昂出演 合唱発表会・大阪市南部地域 7/26（日）鶴見区民センター

- ・大阪のうたごえ 9/23（水・祝）LIC はびきの

日中不再戦・平和友好のつどい

——安倍首相に「過去の克服」を進言する——

昂は冒頭に15分の演奏をします。

□7月1日（水）ドーンセンター

□集合 4時、リハ4時30分、開演演奏6時30分

□赤シャツ、9条バッジ

□「道」、「死んだ男の残したものは」、「歓びのナーダム」

昂ニュースNo.507の再掲です。

主催の「日中友好協会大阪府連合会」の会長、副会長さんが、6月21日レッスン時に昂に挨拶と協力要請に見えました。チケットの拡大に協力しましょう。参加協力費 ¥1,000

橋本邦久さんのお見舞い（演奏）に行きました

6月24日

- 闘病中のバリトン橋本邦久さんのお見舞いで「星ヶ丘医療センター（緩和ケア病棟）」に昂が訪問し、デイルームで演奏しました。
- 岡邑さんの親しみのある司会で、はじめに「ねがい」と「白樺」続いて千秋さんのソロで「わが母のうた」、最後に「川の流れのように」を演奏しましたが、他の患者さんや家族の拍手が大きく、担当のお医者さんが、後は何とでもしますからやってくださいとの許可を得て、橋本さん作詞の「労働者はいいぞ」「林道人夫」さらには「歓びのナーダム」とだんだん元気のいい歌も演奏し、最後に橋本さんのリクエストで、橋本さんのベッドの周りに寄って「故郷」を歌いました。



□橋本さんはデイルームにベッドで運び込まれ、最初は目を閉じて口を固く結んでいましたが、昂の演奏が始まると、口が動いて一緒に歌っていました。それが良かったか、だんだんと笑顔も出て、目は閉じたままながら、白い歯がこぼれ、言葉が聞き取れるようになり、「ありがとう」という言葉ははっきり聞き取れました。橋本

さんの慰めになれたようで、奥様も喜んでおられ、看護師長さんから感謝の挨拶もあり、訪問して良かったと思いました。

- 指揮は本並先生、ピアノは静さんと森さんで、参加者は全25名（特団員の佐藤さんを含む）でした。
- 奥様の話では、もうすぐ橋本さんの短歌詩集が上梓されるそうです。期待しています。



大阪のうたごえ協議会

・戦争法案反対街頭宣伝

- 6月21日レッスンのあと、天王寺駅街頭で「若者を戦場に送るな」うたごえ街頭行動を行いました。昂からも7名が参加しました。これからもどんどん集会・デモを行います。

